

1 学び・育ち

1 確かな学び

○1人1台端末の日常的活用を推進し、実践事例集等により効果的な授業実践の周知を図った
○「定着度調査」の分析をもとに、ICT機器の効果的活用による授業改善や主体的な学びを促していく

委員意見:ICT機器の活用や授業改善による教育の充実を評価する。授業研究等による資質向上を期待する。

2 豊かな心

○オリビッパ・パラピッパ教育のレガシーや道徳教育、人権教育の充実を図り、心の育成を推進した
○児童・生徒主体のいじめ防止活動やいじめ予防授業等の実施等により心の育成を充実させていく

委員意見:自己肯定感の高さから成果指標の達成度を評価する。心の育成のため心の教育授業の継続を望む。

3 健やかな体

○持続可能で多様なスポーツ環境整備に向け、休日部活動の段階的な地域連携・地域移行を図っていく

委員意見:休日部活動の地域移行については、江東区の実情を踏まえたより良い形で進めていってほしい。

3 環境

6 施設の整備・充実

○深川第二中学校の長寿命化改修工事が完了
○学校施設老朽化の進展等に伴い、「学校施設長寿命化計画」を改訂し、今後の改築・改修計画を見直した
○今後の収容対策について、臨海部をはじめとした大規模開発や地下鉄8号線延伸等の影響を注視

委員意見:学校施設長寿命化計画を見直すとともに、学校の改築等が計画的に進められていることを評価。

7 安全安心・居場所づくり

○川南小学校内にB登録を新設し、きッズクラブ保留児童の解消を図った
○専用育成室以外の場所を利用した活動スペース確保により、学校外きッズクラブの利用を促進した
○通学路安全の点検結果に基づく対策実施後の効果の確認や対策の改善・充実を図る

委員意見:動き方の多様化が進み、登下校時の見守り等に保護者や地域等、幅広い参画の推進に期待する。
通学路の安全対策について関係機関だけでなく地域を巻き込んだ協力体制の構築が必要である。

「江東区観光キャラクターコトミちゃん」



2 自分らしさ

4 個に応じた教育

○1人1台端末を活用し、一人一人の状況に応じた指導や支援の充実を図った
○特別支援教室の拠点校増設のための体制整備を進めるとともに、各学校、幼稚園に学習支援員を配置し、特別な支援が必要な園児・児童・生徒への支援を実施した
○日本語指導が必要なこどもの母語による指導が可能な講師の派遣により支援体制の充実を図った

委員意見:特別な支援が必要なこどもの教育環境や相談体制の整備を評価する一方、教職員の負担減も必要。
日本語指導が必要なこどもが増加しており、今後も講師の派遣等、支援の充実を期待する。

5 丁寧な相談

○スクールソーシャルワーカーを派遣型から巡回型に変更し、早期発見・早期支援の体制を整備した
○SNS教育相談の対象を小学5～6年生に拡大するとともに、1人1台端末を活用した相談体制を構築した
○引き続き関係機関との連携強化や情報共有を図り、不登校対策を推進していく

委員意見:スクールソーシャルワーカーの支援について、派遣申請型から訪問巡回型への変更を評価する。
ワンストップ型教育相談やSNS相談の認知度を高めるため、さらなる情報発信が必要。

4 つながり

8 地域・家庭

○コミュニティ・スクール(CS)導入支援のため、CS運営を支援するアドバイザー養成講座を開催した

委員意見:コーディネーターの連絡会や研修実施など、地域学校協働本部の活性化推進の支援を評価する。
コミュニティ・スクール全校導入に向け、連携や情報発信など、地域理解の促進が必要である。

9 学校・教員

○夏期に加え冬期にも学校閉庁期間を設定し、教員のワークライフバランスの充実を図った

委員意見:より良い人材確保に向け、業務の効率化だけでなく、教員の魅力発信や意欲醸成の取組に期待。

10 図書館・大学・企業等

○有明こども図書館の開館にあたり、近隣の学校と連携したイベントを実施し、こどもの読書活動や図書館利用の促進を図った

委員意見:読書への興味関心増進のため、地域性を踏まえたイベントや地域情報拠点としての機能充実など、さらなる取組に期待する。



委員長講評

1. 「ともに学び」「ともに育つ」主体的な取組を重視した施策の推進

○指導面や環境の充実など、様々な視点からICT教育の取組が推進され、児童・生徒の学びを深めている
○教員のスキルアップに注力し、授業改革が着実に進められている
○人権教育・道徳教育・自己肯定感を高める教育が計画的に行われ、自他を大切に心身の育成が図られている
○オリンピック・パラリンピック教育のレガシー事業を継続し、多様性を認め合う教育の効果を高めている

2. 地域力を活用し自分らしさを発揮できる施策の推進

○ワンストップ型教育相談、SNS相談など多岐にわたる相談体制が構築され、丁寧な相談体制が推進されている
○スクールソーシャルワーカーを派遣申請型から巡回訪問型へ変更するなど、積極的に取組を改善し、成果を高めている
○ワンストップ型教育相談の効果を高めていくためにも、情報発信に力を入れ、区民への認知度をより高めていくことを期待する
○不登校の支援について、地域の教育力の効果的な活用が図られている

3. 地域とともに進める施策の推進

○通学路の安全確保にあたり、関係機関と連携した危険箇所への対策や防犯カメラの管理など、安全安心なまちづくりに貢献している
○地域の特性に合わせたコミュニティ・スクール導入が推進され、地域との連携、協働をさらに深めていくことを期待する
○各図書館による地域性を踏まえたイベントの開催など、図書館活動における地域情報拠点としての機能充実を評価する